

みずほCustomer Desk Report 2019/02/01号(As of 2019/01/31)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	108.98
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	108.98	1.1485	125.14	1.3118	0.7255
SYD-NY High	109.07	1.1514	125.29	1.3161	0.7295
SYD-NY Low	108.49	1.1435	124.50	1.3098	0.7241
NY 5:00 PM	108.86	1.1447	124.62	1.3110	0.7275
NY DOW	24,999.67	▲ 15.19	日本2年債	-0.1700	▲ 1.00bp
NASDAQ	7,281.74	98.66	日本10年債	0.0000	0.00bp
S&P	2,704.10	23.05	米国2年債	2.4617	▲ 4.63bp
日経平均	20,773.49	216.95	米国5年債	2.4391	▲ 4.42bp
TOPIX	1,567.49	16.73	米国10年債	2.6319	▲ 4.47bp
シカゴ日経先物	20,845.00	40.00	独10年債	0.1480	▲ 3.95bp
ロンドンFT	6,968.85	27.22	英10年債	1.2180	▲ 3.45bp
DAX	11,173.10	▲ 8.56	豪10年債	2.2300	▲ 1.90bp
ハンセン指数	27,942.47	299.62	USDJPY 1M Vol	6.75	0.14%
上海総合	2,584.57	9.00	USDJPY 3M Vol	7.25	0.07%
NY金	1,319.70	9.80	USDJPY 6M Vol	7.74	0.14%
WTI	54.02	▲ 0.21	USDJPY 1M 25RR	-1.14	Yen Call Over
CRB指数	179.64	▲ 0.47	EURJPY 3M Vol	7.74	▲ 0.15%
ドルインデックス	95.55	0.21	EURJPY 6M Vol	8.23	▲ 0.04%

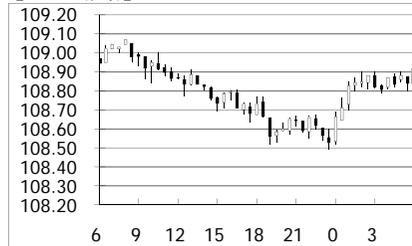
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月31日	10:00	中	非製造業/製造業PMI	1月 54.7/49.5 53.8/49.3
	16:00	独	小売売上高(前月比/前年比)	12月 -4.3%/-2.1% -0.6%/1.5%
	19:00	欧	失業率	12月 7.9% 7.9%
	19:00	欧	GDP・速報(前期比/前年比)	4Q 0.2%/1.2% 0.2%/1.2%

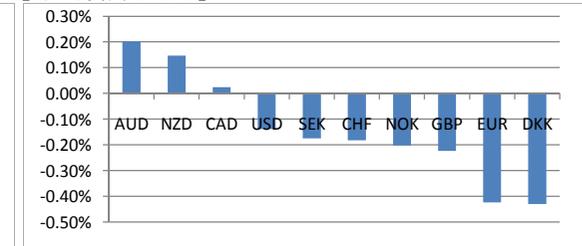
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月1日	8:30	日	失業率	12月 2.5% 2.5%
	17:55	独	マーケット製造業PMI・確報	1月 49.9 49.9
	19:00	欧	CPI速報値(前年比)	1月 1.4% 1.6%
	22:30	米	非農業部門雇用者数変化	1月 165k 312k
	22:30	米	失業率	1月 3.9% 3.9%
	22:30	米	平均時給(前月比/前年比)	1月 0.3%/3.2% 0.4%/3.2%
	23:45	米	マーケット製造業PMI・確報	1月 54.9 54.9
2月2日	0:00	米	ISM製造業景況指数	1月 54.0 54.3
	0:00	米	ミシガン大学消費者マインド・確報	1月 90.7 90.7

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	108.30-109.30	1.1400-1.1500	124.00-125.50

【マーケットインプレッション】

昨日海外時間のドル円は108円台後半で方向感無い推移となった。前日のハト派FOMCを受けドル売りが進行し、ドル円は一時108円台前半まで下落した。しかしその後、米中通商協議を巡り、トランプ大統領が3月1日までに合意できるとの楽観的な見方を示したことを受け、ドルは買い戻され、ドル円も108円台後半まで戻す展開。本日のドル円は引き続き方向感無く推移すると予想。本日に予定されている米雇用統計の発表を控える中、ドル円は108円台後半で方向感無く推移しそうだ。

東京	東京時間のドル円は108.98レベルでスタート。前日FOMC後からのUSD安の流れを継続し上値重く推移。月末円転フローも追い風となり前日安値の108.81を下抜け108.70まで下落したが、米中通商協議を控える中、積極的に安値を追い展開とはならず108.79レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、108.79レベルでオープン。昨日の米利上げ休止観測、金融政策正常化の鈍化を受け、ドル軟調地合いが継続。108.52まで売られ、108.66レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.1497レベルでオープン。イタリヤの第4四半期GDPが、前期比-0.2%と2四半期連続でのマイナス成長(リセッション入り)し、第4四半期のユーロ圏GDP速報値が、前期比+0.2%と、2014年第2・四半期以来の低い伸びとなる等、この日発表された一連のユーロ圏経済指標は弱めの結果が多かった。ユーロは、対ドルで1.1472に低下し、1.1493レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.3126レベルでオープン。米英首相報道官が、3月29日の離脱の方針に変化はないと述べる等、強硬離脱を示唆したが、米長期金利低下等を背景に、ドルの敵対によってポンドが支えられる展開。結局、オープンと同水準の1.3126レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルジャー 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	昨日のFOMC結果を受けたドル売りが海外市場でも継続したことから108.52まで下落したドル円は、108.66レベルでNYオープン。朝方は、米第4四半期雇用コスト指数が予想を下回り、新規失業保険申請件数も予想を上回ったことから108.49まで再び反落する。その後は反落してスタートした株式市場が下げ渋る展開に、ドル円はサポートされ、1月シカゴ購買部協会景況指数が予想を下回る一方、11月新築住宅販売件数が予想を大きく上回ったこともあり、ドル買戻しに108.90まで上昇。午後は明日の米雇用統計結果発表を控え、狭いレンジでの推移が続くが、終盤に駆けつけハイパー米通商代表が「中国との協議進展」、「更に加へすべき問題がある」と引き続き協議を続ける意欲を見せ、トランプ大統領も「習主席との会談の日程はされていない」発言するが、再び会談することに意欲を見せたことから、ドル円は108.94まで上昇し、108.86レベルでクロスした。一方、昨日のハト派なFOMC結果を受けたドル売りに、海外市場で1.1514まで戻したユーロドルは、このレベルでは利益確定の売り意欲が強く、独12月小売売上高、イタリヤ第4四半期GDPが弱かったことなどもあり、1.1472まで反落し、1.1493レベルでNYオープン。朝方はドル買いが先行したことから、ユーロドルはじり安で推移し、1.1435まで反落する。午後は、閑散な推移が続き、1.1447レベルでクロスした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 濱・網島